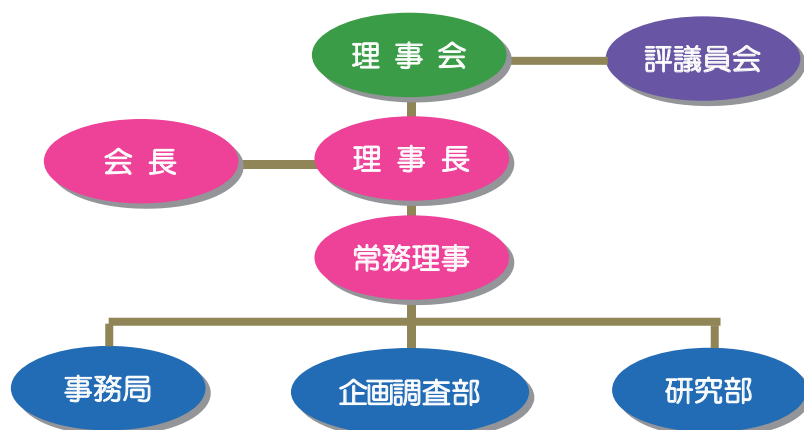


## 1. 財団の概要

法人名	公益財団法人 ダイヤ高齢社会研究財団
理事長 (代表理事)	石塚 博昭 (2017年5月1日就任)
所在地	〒160-0022 東京都新宿区新宿一丁目34番5号 VERDE VISTA 新宿御苑3階
電話/FAX	03-5919-1631 (代表) / FAX 03-5919-1641
ホームページ	<a href="http://www.dia.or.jp/">http://www.dia.or.jp/</a>
設立	1993(平成5)年6月18日 (厚生省許可) 2010(平成22)年12月1日 公益財団法人に移行 (内閣府認定)
目的	高齢社会の諸問題に関する実践的な調査・研究活動を通じて、保健・医療及び福祉等の分野の課題の解決に寄与する
主な事業	高齢社会における「健康」「経済」「生きがい」に関する調査・研究、並びに諸問題に関する啓発活動・活動成果の普及
賛助会員 27社  (五十音順) (2020年7月1日現在)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ AGC 株式会社</li> <li>・ キリンホールディングス株式会社</li> <li>・ 株式会社ニコン</li> <li>・ 三菱アルミニウム株式会社</li> <li>・ 三菱ガス化学株式会社</li> <li>・ 株式会社三菱ケミカルホールディングス</li> <li>・ 三菱自動車工業株式会社</li> <li>・ 三菱製鋼株式会社</li> <li>・ 株式会社三菱総合研究所</li> <li>・ 株式会社三菱 UFJ 銀行</li> <li>・ 三菱 UFJ 信託銀行株式会社</li> <li>・ ENEOS ホールディングス株式会社</li> <li>・ 東京海上日動火災保険株式会社</li> <li>・ 日本郵船株式会社</li> <li>・ 三菱化工機株式会社</li> <li>・ 三菱ケミカル株式会社</li> <li>・ 三菱地所株式会社</li> <li>・ 三菱重工業株式会社</li> <li>・ 三菱製紙株式会社</li> <li>・ 三菱電機株式会社</li> <li>・ 三菱 UFJ 証券ホールディングス株式会社</li> <li>・ 三菱 UFJ ニコス株式会社</li> <li>・ 株式会社ピーエス三菱</li> <li>・ 三菱商事株式会社</li> <li>・ 三菱倉庫株式会社</li> <li>・ 三菱マテリアル株式会社</li> <li>・ 明治安田生命保険相互会社</li> </ul>

## 2. 執行組織



当財団ホームページトップページ

## 3. 評議員・理事・監事

## 評議員

(2020年7月1日現在)

(敬称略。五十音順)

氏名	所属
秋山 弘子	東京大学 名誉教授
安藤 高夫	医療法人社団永生会 理事長
池上 直己	聖路加国際大学 特任教授
磯田 卓	東京海上日動火災保険株式会社 理事 総務部長
井上 貴至	株式会社三菱総合研究所 総務人事部長
梅原 慎史	日本郵船株式会社 経営委員
荻原 隆二	介護老人保健施設ハートテラス中野弥生町 施設長
門脇 勲	三菱マテリアル株式会社 執行役員 人事総務本部 人事部長
久保 人司	三菱地所株式会社 総務部長
菅原 弘子	一般社団法人地域共生政策自治体連携機構 事務局長
藤原 佳典	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所 研究部長
増田 邦昭	三菱電機株式会社 執行役員 人事部長代理
丸井 英二	人間総合科学大学 人間科学部 教授
簾 孝志	AGC株式会社 常務執行役員 人事部長
三好 敏也	キリンホールディングス株式会社 取締役常務執行役員

## 理事

(2020年7月1日現在)

(敬称略)

氏名	所属
会長 松尾 憲治	明治安田生命保険相互会社 特別顧問
理事長(代表理事) 石塚 博昭	三菱ケミカル株式会社 特別顧問
常務理事(業務執行理事) 佐藤 一三	公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団 常務理事
浅野 洋介	公益財団法人ダイヤ高齢社会研究財団
江澤 和彦	公益社団法人日本医師会 常任理事
黒澤 彰広	三菱商事株式会社 総務部長
齋藤 訓子	公益社団法人日本看護協会 副会長
関 浩之	株式会社三菱UFJ銀行 執行役員 人事部長
高井 康行	一般財団法人長寿社会開発センター 理事長
田中 滋	埼玉県立大学 理事長
堀田 力	公益財団法人さわやか福祉財団 会長
三島 正彦	三菱重工業株式会社 取締役常務執行役員
水田 邦雄	一般社団法人シルバーサービス振興会 理事長
山本 則子	東京大学大学院 医学系研究科 教授

## 監事

(2020年7月1日現在)

(敬称略。五十音順)

氏名	所属
金子 茂夫	金子会計事務所 (公認会計士・税理士)
木村 智広	三菱UFJ信託銀行株式会社 取締役常務執行役員

## 4. 理事会・評議員会の開催状況

### 理事会

開催日 (※：定時理事会)	決議事項 (○)・報告事項 (◇)
2019年 5月 21日 (※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2018 年度事業報告、計算書類(貸借対照表および正味財産増減計算書)および附属明細書ならびに財産目録承認の件</li> <li>○ 定時評議員会の日時および場所ならびに目的である事項等の件</li> <li>◇ 評議員候補者の件</li> <li>◇ 職務遂行状況報告の件</li> </ul>
2019年 12月 20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 役員互選の件</li> </ul>
2020年 3月 4日 (※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2019 年度 第 2 回評議員会の日時および場所ならびに目的である事項等の件</li> <li>○ 2020 年度 事業計画および収支予算の件</li> <li>◇ 職務遂行状況の件</li> <li>◇ 基本財産等の管理運用状況の件</li> </ul>
2020年 3月 4日 (★)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2019 年度 第 2 回評議員会の日時および場所ならびに目的である事項等の件</li> <li>○ 「2020 年度事業計画・収支予算書の承認」の件</li> </ul>

★ 新型コロナウイルス感染症の影響により、第 2 回定時理事会の出席者が定足数に満たなかったため、法令及び定款に基づき同日付で「みなし決議」を実施

### 評議員会

開催日 (※：定時評議員会)	決議事項 (○)・報告事項 (◇)
2019年 4月 26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 監事選任の件</li> </ul>
2019年 6月 6日 (※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2018 年度計算書類(貸借対照表および正味財産増減計算書)および附属明細書ならびに財産目録承認の件</li> <li>○ 評議員選任の件</li> <li>◇ 2018 年度事業報告の件</li> </ul>
2019年 7月 19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 理事選任の件</li> </ul>
2019年 12月 20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 理事選任の件</li> </ul>
2020年 3月 4日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2020 年度 事業計画および収支予算の件</li> <li>◇ 職務遂行状況の件</li> <li>◇ 基本財産等の管理運用状況の件</li> </ul>
2020年 3月 31日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 評議員選任の件</li> </ul>

## 5. 研究スタッフ (2020年4月1日現在)

石橋 智昭 主席研究員／研究部長 (博士&lt;医学&gt;)

専門領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘルスサービスリサーチ</li> </ul>
研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護サービスの質の可視化</li> <li>介護保険制度の政策評価</li> <li>生きがい就業の健康維持効果</li> </ul>
近年の主な業績	<p>(著書／分担執筆)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>介護職員 初任者研修テキスト(分担執筆)：介護労働安定センター(2018年)</li> <li>インターライ方式ガイドブック；ケアプラン作成・質の管理・看護での活用(編著)：医学書院(2017)</li> <li>就労支援で高齢者の社会的孤立を防ぐ 社会参加の促進と QOL の向上；第5章 生きがい就業を支える社会システム(分担執筆)：ミネルヴァ書房(2016)</li> <li>Long-term care reforms in OECD countries; POLICY PRESS, 2016</li> <li>ジェロントロジー・ライブラリー②高齢者の就業と健康 何歳まで働くべきか；第3章-1 介護予防になる生きがい就業のかたち(分担執筆)社会保険出版社(2016)</li> <li>Towards Human Rights in Residential Care for Older Persons: International Perspectives; Human rights and residential care for older people in Japan. Routledge, 2015.</li> <li>Regulating Long-Term Care Quality; An International Comparison. Cambridge University Press, 2014.</li> <li>介護職員 初任者研修テキスト(分担執筆)：ミネルヴァ書房(2013年)</li> <li>インターライ方式 ケア アセスメント—居宅・施設・高齢者住宅(翻訳). 医学書院(2011年)</li> </ul> <p>(論文)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>シルバー人材センター会員の前職と希望する職種の関係 老年社会科学 38-1 (2016)</li> <li>生きがい就業を支えるシルバー人材センターのシステム. 老年社会科学, Vol.37-1, 2015.</li> <li>「介護予防の観点からみた生きがい就業の効用. 『病院設備』(VOL.56-4, 2014)</li> <li>介護人材をどう確保するか: 日本版キャリアパスの検証(特集 高齢先進国のビジョン) 『病院』 71(9) 708-712 (2012年9月)</li> <li>アセスメントデータを用いた居宅ケアの質の評価—HC-QI の活用. 老年社会科学 33(3)484-489(2011年)</li> <li>Should the provision of home help services be contained?: validation of the new preventive care policy in Japan. BMC health services research 10 224(2010年)</li> </ul> <p>(競争的資金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第46回(平成27年)三菱財団 社会福祉事業・研究助成「高齢者が支え手側となる「生きがい就業」の有用性検証」</li> <li>科学研究費助成事業(2013-2015)「ケア現場のエビデンス集積を促進する利用者データベースの構築」</li> <li>ファイザーヘルスリサーチ振興財団・国際共同研究助成(2009年)：「訪問介護による生活援助と機能状態の関係」；デンマークにおけるパネルデータの検証から見た今後の日本の介護予防施策</li> </ul>
大学・関係団体での役職	<ul style="list-style-type: none"> <li>慶應義塾大学医学部 非常勤講師</li> <li>東邦大学看護学部 非常勤講師</li> <li>(公社)全国シルバー人材センター事業協会 優良センター等選定委員</li> <li>特定非営利活動法人インターライ日本 理事</li> <li>東京都健康長寿医療センター 研究協力員</li> </ul>

澤岡 詩野 主任研究員（博士<工学>）

専門領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 老年社会学（社会関係）、都市社会学、建築学（都市計画）</li> </ul>
研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 都市高齢者の周縁部の社会関係（知合い以上で友人未満のゆるやかなつながり）</li> <li>・ 社会とつながり続ける手段としての ICT の可能性（情報通信技術）</li> <li>・ 高齢期の第三の居場所（家庭、職場に続く居心地の良い場の形成）</li> </ul>
近年の主な業績	<p>(著書／分担執筆)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 後悔しない年賀状終活のすすめ, 澤岡詩野, カナリアコミュニケーションズ, 2019</li> <li>・ 「地方創生」へのまちづくり・ひとづくり, 袖井孝子編著、佐藤滋、辻利夫、澤岡詩野他, ミネルヴァ書房, 2016</li> <li>・ 荻窪家族プロジェクト物語；住む人・使う人・地域の人みんなでつくり多世代で暮らす新たな住まい方の提案, 荻窪家族プロジェクト編著：瑠璃川正子、澤岡詩野、連建夫他, 萬書房, 2016</li> </ul> <p>(論文)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 都市高齢者のボランティア活動と継続意識；よこはまシニアボランティアポイント制度登録者における検討；澤岡詩野、渡邊大輔、中島民恵子、大上真一, 応用老年学, 第11巻, 61-70, 2017</li> <li>・ 高齢者が日常生活において交流している他者との関係；古谷野亘、澤岡詩野、菅原育子、西村昌記, 老年社会科学 38(3), 345-350, 2016</li> <li>・ 都市高齢者の近隣との関わり方と支え合いへの意識；非常時と日常における近隣への意識に着目して；澤岡詩野、渡邊大輔、中島民恵子、大上真一, 老年社会科学, 第37巻第3号, 306-315, 2015</li> <li>・ 高齢者の非親族との電子メールを介した交流の特性；澤岡詩野、袖井孝子、森やす子、荒井浩道、社会情報学, 第2巻第3号, 15-26, 2014</li> <li>・ 都市部の企業退職者の社会活動と社会関係におけるインターネットの位置づけ；澤岡詩野, 応用老年学, 第8巻第1号, 31-39, 2014</li> <li>・ 都市のひとり暮らし後期高齢者における他者との日常的交流；澤岡詩野、古谷野亘、本田亜起子, 老年社会科学, 第34巻第1号, 39-45, 2012</li> <li>・ 社会関係の研究において用いられている非親族との関係の指標；日本の高齢者を対象とした最近の実証研究のレビュー；澤岡詩野、古谷野亘, 老年社会科学, 第33巻第1号, 47-59, 2011</li> </ul> <p>(競争的資金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成29年度長寿科学研究者支援事業(平成29年～31年) ゆるやかなソーシャルキャピタルを醸成する介護予防事業の構築・継続要因に関する研究</li> <li>・ 平成25年度 厚生労働科学研究費補助金(平成23年、研究代表者 藤原佳典、分担研究者) 地域保健事業におけるソーシャルキャピタルの活用に関する研究</li> <li>・ 平成23年度 文部科学省科学研究費補助金 若手A(平成23～平成25年) 日常化しつつある都市在宅高齢者の交流媒体としてのインターネットの役割</li> <li>・ 平成22、23年度 福祉医療機構事業助成(申請 シニア社会学会) ICTによる高齢者孤立防止事業、孤立防止モデル普及事業</li> <li>・ 平成22年度 日本興亜福祉財団ジェロントロジー研究助成 ICTを活用した後期高齢期における社会活動継続に関する研究</li> <li>・ 平成20年度 大川情報通信基金研究助成(申請代表 袖井孝子) 高齢社会における高齢者のIT利用とQOL(生活の質)の向上</li> </ul> <p>(受賞歴)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成28年度 日本老年社会学会 論文賞</li> <li>・ 平成23年度 日本老年社会学会 奨励賞</li> <li>・ 平成14年度 三井住友海上福祉財団賞 高齢者福祉部門 佳作</li> </ul>
大学・関係団体での役職	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法政大学現代福祉学部 非常勤講師（データの収集と分析Ⅰ・Ⅱ）</li> <li>・ 東京都健康長寿医療センター 協力研究員</li> <li>・ 日本老年社会学会(広報委員、編集委員)、日本応用老年学会（監事、編集委員）、シニア社会学会（理事）</li> <li>・ 日本建築学会、日本都市社会学会、社会情報学会、The Gerontological Society of America 会員</li> <li>・ (公財)東京都防災・建築まちづくりセンター 理事</li> <li>・ 内閣府平成30年度「高齢者の住宅と生活環境に関する調査」分析検討委員</li> <li>・ 総務省平成29年度「IoT新時代の未来づくり検討委員会」高齢者SWG 構成員</li> <li>・ 内閣府平成27年度～令和元年度 高齢社会フォーラム運営委員</li> </ul>

## 二宮 彩子 博士研究員（博士&lt;看護学&gt;）

専門領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎看護学、地域看護学、在宅ケア看護学</li> </ul>
研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>看取りにおける他職種連携</li> <li>居宅要介護高齢者の well-being</li> <li>高齢者の生理機能反応</li> </ul>
近年の主な業績	<p>(著書／分担執筆)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>坪井良子、松田たみ子編、考える基礎看護技術 I [第3版]－看護技術の基本－；第10章「ヘルスアセスメント」系統別フィジカルアセスメント血圧測定／意識レベル(分担執筆)：ヌーヴェルヒロカワ(2005)</li> <li>日野原重明・井村裕夫監修、安原真人編、コメディカルのための最新医学講座 薬物療法；肝障害患者(分担執筆)：中山書店(2002)</li> <li>高崎絹子、島内節、内田恵美子、佐藤美穂子編著、看護職が行う在宅ケアマネジメント；活動表活用によるケアマネジメント評価(分担執筆)：日本看護協会出版会(1996)</li> <li>島内節、久恒節子編著、地域看護学講座 8 老人地域看護活動；諸外国の在宅ケア、スウェーデンにおける在宅ケア・デンマークにおける在宅ケア(分担執筆)：医学書院(1994)</li> </ul> <p>(論文)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Ayako Ninomiya, Yayoi Saito, Fall prevention in the elderly during active standing from the perspective of circulatory dynamic state and autonomic nerve activity-Nursing support based on differences in sleeping style-, Journal of the Ochanomizu Association for Academic Nursing, 5 (2), 18-31, 2011</li> <li>二宮彩子, 後藤孝子, 本田彰子, 齋藤やよい；中堅看護職者の学習環境と学びのプロセス (第3報)－「学び直し教育プログラム」受講後の自己評価を通して－, お茶の水看護学雑誌 4(1), 29-36, 2009</li> <li>増田敦子, 二宮彩子, 小泉仁子, 女子大生を対象とした血圧測定におけるカフ幅の検討, 了徳寺大学研究紀要 1, 141-149, 2007</li> <li>佐々木吉子, 二宮彩子, 小泉仁子, 小林敏生, 根本清次, 増田敦子, 同一体位の保持と生体反応－生理反応, 苦痛, および諸要因の関連－, 日本看護研究学会雑誌 26(5), 123-132, 2003</li> </ul> <p>(競争的資金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>科学研究費助成事業基盤 C (2019-2021) 「訪問看護師と協同で行う訪問介護員のための看取り学びシステムの構築」</li> <li>科学研究費助成事業若手研究 (B) (2007-2009) 「訪問看護師による効果的な在宅リハビリテーションを行う為の病院との連携に関する研究」</li> <li>科学研究費助成事業萌芽研究 (2004-2005) 「起立性低血圧に後発する高血圧の実態－高齢者が安全に布団から起き上がるために－」</li> <li>龍谷大学福祉大学福祉フォーラム共同事業 (龍谷大学助成金) (2003) 「起坐位保持による臀部への体圧の実態と褥創予防との関係－呼吸器疾患患者における苦痛緩和の試み－」</li> </ul>
大学・関係団体での役職	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京大学健康科学・看護学専攻客員研究員</li> </ul>

廣岡 佳代 博士研究員（博士<看護学>）

専門領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 終末期ケア、緩和ケア、在宅ケア</li> </ul>
研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知症を持つ高齢がん患者の疼痛緩和</li> <li>・ 高齢者のアドバンス・ケア・プランニング</li> <li>・ 看取りの質、終末期ケアの質</li> <li>・ 心的外傷後成長</li> </ul>
近年の主な業績	<p>(著書／分担執筆)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 林直子、鈴木久美、酒井郁子、梅田恵編、成人看護学概論：社会に生き世代をつなぐ成人の健康を支える（担当：分担執筆、範囲：喪失と悲嘆を支える）：南江堂（2019）</li> <li>・ 梅田恵、射場典子編、緩和ケア：尊厳ある生と死,大切な生活をつなぐ技と心（担当：分担執筆、範囲：倦怠感のマネジメント； 諸外国における緩和ケアの体制）：南江堂（2018）</li> <li>・ 田村恵子編、終末期看護：エンド・オブ・ライフ・ケア（担当：分担執筆、範囲：ビリーブメントケア）：メヂカルフレンド社（2017）</li> </ul> <p>(論文)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Hirooka K, Nakanishi M, Fukahori H, Nishida A. Impact of dementia on quality of death among cancer patients: An observational study of home palliative care users. <i>Geriatr Gerontol Int.</i> 2020 Feb 4. doi: 10.1111/ggi.13860.</li> <li>・ Hirooka K, Fukahori H, Taku K, Izawa T, Ogawa A. Posttraumatic growth in bereaved family members of patients with cancer: A qualitative analysis. <i>Support Care Cancer.</i> 2019;27(4):1417-1424.</li> <li>・ Hirooka K, Nakanishi M, Nishida A. Hospital death in dementia patients and regional provision of palliative and end-of-life care: National patient data analysis. <i>Cogent Med.</i> 2018</li> <li>・ Nakanishi M, Endo K, Hirooka K, Granvik E, Minthon L, Nägga K, Nishida A. Psychosocial behaviour management programme for home-dwelling people with dementia: A cluster-randomized controlled trial. <i>Int J Geriatr Psychiatry.</i> 2018;33(3):495-503.</li> <li>・ Hirooka K, Otani H, Morita T, Miura T, Fukahori H, Aoyama M, Kizawa Y, Shima Y, Tsuneto S, Miyashita M. End-of-life experiences of family caregivers of deceased patients with cancer: A nation-wide survey. <i>Psychooncology.</i> 2018;27(1):272-278.</li> </ul> <p>(競争的資金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 科学研究費助成事業若手研究（2018-2021）認知症を持つ高齢がん患者の疼痛緩和に向けたケアモデルの構築</li> <li>・ 公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団（2016）「在宅療養がん患者の看取り期における訪問看護師と介護職の連携の促進要因」</li> </ul>
大学・関係団体での役職	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本緩和医療学会オンラインジャーナル編集委員</li> <li>・ 日本緩和医療学会 教育・研修委員会 ELNEC-J WPG</li> <li>・ 日本看護科学学会 研究・学術推進委員会</li> </ul>



## 安 順姫 研究員 (修士&lt;老年学&gt;)

専門領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 老年学</li> </ul>
研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ うつ予防教室終了後の自主グループ活動の推進</li> <li>・ 介護予防教室終了後の自主活動定着のための支援のあり方</li> <li>・ うつ予防プログラムの普及・定着</li> </ul>
近年の主な業績	<p>(論文)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安順姫、芳賀博、兪今：介護予防ボランティア登録者の活動への参加頻度に関連する要因. 老年学雑誌 2011 ; 2 : 1-13.</li> </ul> <p>(学会発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安順姫、芳賀博、佐藤美由紀：「うつ予防教室終了後の自主活動継続のための支援のあり方」第 61 回日本老年社会学会大会 (2019/6/6-8、宮城県)</li> <li>・ 安順姫、兪今：「うつ予防教室終了後の自主活動がその後のメンタルヘルスに与える効果」第 77 回日本公衆衛生学会総会(2018/10/24-26、福島県)</li> <li>・ 兪今、安順姫、張慶鎬：「中国の高学歴層高齢者における睡眠状態とその関連要因」第 82 回日本健康学会(2017/11/10-11、沖縄県)</li> <li>・ 安順姫、兪今：「うつ予防教室終了後における自主グループ活動への参加の実態およびその関連要因－神奈川県 C 市を事例とした検討－」第 12 回日本応用老年学会大会(2017/10/22、東京都)</li> <li>・ 安順姫、兪今：「高齢者の主観的幸福感とハッピープログラムの実施状況との関連」第 59 回日本老年社会学会大会(2017/6/14-16、名古屋)</li> <li>・ 兪今、安順姫：「高齢期における幸福感がその後の抑うつ発症に与える影響；5 年間の縦断的研究から得られた知見」第 32 回日本老年精神医学会学術集会(2017/6/14-16、名古屋)</li> <li>・ 兪今、安順姫：「中国の高学歴層高齢者における抑うつの性差とその関連要因」第 81 回日本民族衛生学会総会(2016/11/26-27、東京都)</li> <li>・ 兪今、安順姫、岩田明子、黒澤侑子：「Effectiveness of "Happy Program" in promoting mental health and well-being at workplace("ハッピープログラム"が労働者のメンタルヘルスの維持増進に対する有効性について)」第 31 回国際心理学会議／日本心理学会第 80 回大会(2016/7/24-29、横浜)</li> </ul> <p>(競争的資金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成 29 年度 科学研究費助成事業(平成 29～平成 30 年度)：うつ予防教室終了後の自主活動定着のための支援に関する研究</li> </ul>

中村 桃美 研究員（修士〈老年学〉）

専門領域	・ 老年学
研究テーマ	・ シルバー人材センターにおける QOL 維持増進効果の検証
近年の主な業績	<p>(著書／分担執筆)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ジェロントロジー・ライブラリー②高齢者の就業と健康 何歳まで働くべきか；第3章-1 介護予防になる生きがい就業のかたち(分担執筆)社会保険出版社(2016) (論文)</li> <li>・ 中村桃美・石橋智昭：「シルバー人材センターに対する会員の領域別満足度と関連要因の検討」応用老年学, 12(1), 2018</li> <li>・ 中村桃美, 石橋智昭：「生きがい就業における年齢階層別の就業実態；シルバー人材センター7ヶ所への調査から」. 応用老年学, 11(1), 2017.</li> <li>・ 塚本成美, 中村桃美, 石橋智昭：「シルバー人材センター会員の前職と希望する職種の関係」. 老年社会科学, 38(1), 2016</li> <li>・ 中村桃美, 長田久雄, 杉澤秀博：「都市部シルバー人材センターにおける就業の高次生活機能の低下抑制への影響」. 老年学雑誌, (6), 2016</li> <li>・ 石橋智昭, 中村桃美：「介護予防プログラムへの生きがい就業の活用」病院設備, 56(4), 2014 (学会発表)</li> <li>・ 中村桃美・森下久美・石橋智昭：「認知機能低下が見られる高齢者の就業；都内シルバー人材センター会員を対象に」第78回日本公衆衛生学会総会（2019/10）</li> <li>・ 中村桃美・森下久美・石橋智昭：「シルバー人材センター会員が希望しない仕事の特徴」第14回日本応用老年学会大会（2019/10）</li> <li>・ 石橋智昭・森下久美・中村桃美・大坪英二郎・塚本成美・渡辺修一郎・松田文字：「シルバー人材センターへの入会者像の変化；3時点10年間の比較」第61回日本老年社会科学大会（2019/6）</li> <li>・ 中村桃美・森下久美・石橋智昭：「シルバー人材センターにおける退会会員の特性；全国調査からの検討」第61回日本老年社会科学大会（2019/6）</li> <li>・ 塚本成美・石橋智昭・森下久美・中村桃美・大坪英二郎・松田文字・渡辺修一郎：「シルバー人材センターの80歳以上の会員が担当している仕事の内容と条件」第61回日本老年社会科学大会（2019/6）</li> <li>・ 森下久美・石橋智昭・中村桃美・大坪英二郎・塚本成美・松田文字・渡辺修一郎：「会員の認知機能低下に対するシルバー人材センターの意識」第61回日本老年社会科学大会（2019/6）</li> <li>・ 中村桃美・森下久美・石橋智昭：「シルバー人材センター会員の年齢段階別の退会理由；全国6万人調査の結果から」第77回日本公衆衛生学会総会（2018/10）</li> <li>・ 石橋智昭・中村桃美・森下久美：「シルバー人材センターの75歳以上会員の健康度と働き方」第13回日本応用老年学会大会（2018/10）</li> <li>・ 中村桃美・塚本成美・石橋智昭：「シルバー人材センター会員の加齢と就業①；配分金からみた就業量の変化」. 第60回日本老年社会科学大会(2018/6)</li> <li>・ 塚本成美・中村桃美・石橋智昭：「シルバー人材センター会員の加齢と就業②；就業した仕事内容の変化」. 第60回日本老年社会科学大会(2018/6)</li> <li>・ 石橋智昭・中村桃美・塚本成美：「80歳以降も支え手側に回る高齢者の実態；都内4カ所のシルバー人材センターの会員調査」. 第60回日本老年社会科学大会(2018/6) (競争的資金)</li> <li>・ 科学研究費助成事業(2018-2020)「高齢期の認知機能低下は生きがい就業を不可能にするか；支援方法構築のための基礎研究」.</li> </ul>
大学・関係団体での役職	・ 社会福祉法人亀鶴会公益的取組み推進委員

## 森下 久美 研究員 (修士&lt;老年学&gt;)

専門領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 老年学、栄養学</li> </ul>
研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知症の人の家族介護者支援</li> <li>・ シルバー人材センターにおける安全就業支援</li> </ul>
近年の主な業績	<p>(著書／分担執筆)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知症介護研究・研修仙台センター [編]: 厚生労働省平成 29 年度老人保健健康増進等事業; 認知症の家族等介護者支援に関する調査研究事業(成果物); 「専門職のための Q&amp;A でわかる認知症の家族介護者支援ガイドブック」. 2018 年 3 月. 第 2 章 8 節 「子育てと介護の両方をおこなうものへの支援」</li> </ul> <p>(学会発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Kumi Morishita・Momomi Nakamura・Tomoaki Ishibashi: 「The Job Description of Aged 80 and Over; The Case of SHRC In Japan」 The 11th Asia/ Oceania Congress of Gerontology and Geriatrics (2019/10)</li> <li>・ 森下久美・中村桃美・石橋智昭: 「シルバー人材センター会員における就業につかない要因の検討」 第 14 回日本応用老年学会大会 (2019/10)</li> <li>・ 森下久美・石橋智昭・中村桃美・大坪英二郎・塚本成美・松田文子・渡辺修一郎: 「会員の認知機能低下に対するシルバー人材センターの意識」 第 61 回日本老年社会学会大会 (2019/6)</li> <li>・ 森下久美・中村桃美・石橋智昭: 「高齢者に対する認知症サポーター養成講座の有用性の検討」 第 77 回日本公衆衛生学会総会(2018/10)</li> <li>・ 森下久美・矢吹知之・長田久雄・関野明子: 「老老介護における空白の期間の実態; 認知症家族介護における検討」 第 13 回日本応用老年学会大会(2018/10)</li> <li>・ 森下久美・長田久雄: 「大学生の認知症の人への態度と知識の関連」. 第 60 回日本老年社会学会大会(2018/6)</li> <li>・ 森下久美・長田久雄: 「大学生の認知症の人への態度と関連要因の検討; 非医療福祉系専攻の学生に着目して」. 第 19 回日本認知症ケア学会大会(2018/6)</li> <li>・ 森下久美・長田久雄: 「大学生の認知症の人への態度とエイジズムの関連; 非医療福祉系専攻の学生に着目して」. 第 31 回日本健康心理学会大会(2018/6)</li> <li>・ 森下久美: 「在宅認知症高齢者介護における家族の心理状況; 主介護者の孫・ひ孫に着目して」. 第 30 回日本健康心理学会大会若手シンポジウム(2017/9)</li> </ul>

【客員研究員】

芳賀 博（佐久大学看護学部 客員教授）

専門領域・テーマ	・ 公衆衛生学・健康科学、応用健康科学、老年学
----------	-------------------------

塚本 成美（城西大学経営学部 教授）

専門領域・テーマ	・ 経営社会学、経営組織論、人事労務論、雇用労働論
----------	---------------------------

渡辺 修一郎（桜美林大学大学院 老年学研究科 教授）

専門領域・テーマ	・ 老年学、地域保健学、産業保健学、老年医学
----------	------------------------

高野 龍昭（東洋大学ライフデザイン学部 准教授）

専門領域・テーマ	・ 介護保険、ケアマネジメント
----------	-----------------

小野 恵子（青森県立保健大学健康科学部 准教授）

専門領域・テーマ	・ 地域・老年看護学、在宅ケア、在宅看護、訪問看護
----------	---------------------------

阿部 詠子（順天堂大学保健看護学部 講師）

専門領域・テーマ	・ 在宅看護、多職種連携・協働・多因子介入
----------	-----------------------

五十嵐 歩（東京大学医学部 講師）

専門領域・テーマ	・ 老年看護学（慢性期医療・施設・在宅における高齢者ケアの質評価・改善）
----------	--------------------------------------

森田 彩子（東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科国際健康推進医学分野 講師）

専門領域・テーマ	・ 社会医学、公衆衛生学・健康科学、国際保健学
----------	-------------------------

松田 文子（公益財団法人大原記念労働科学研究所 特別研究員）

専門領域・テーマ	・ 労働科学、人間工学、産業組織心理学、安全工学
----------	--------------------------

早尾 弘子（公益社団法人日本看護協会 職員）

専門領域・テーマ	・ 基礎看護学、健康情報分析学
----------	-----------------

土屋 瑠見子（一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 研究員）

専門領域・テーマ	・ リハビリテーション、老年学、公衆衛生学
----------	-----------------------

研究スタッフの詳細は当財団ホームページをご参照ください

<http://dia.or.jp/profile/researcher/>



リンクしない場合は財団のトップページからアクセスしてください

### 6. 他機関・団体等との交流

#### (1) 「財団交流会」の開催

2019年9月12日に、当財団に関わる「産・学・官・民」各立場の皆様を招き、「財団交流会 2019」を大手町にて開催しました。64組織82名の参加を得て、参加者の人脈拡大・情報連携の機会を創出しました。

#### (2) 明治安田システム・テクノロジー 介護の広場本部と共催でセミナーを開催

2019年11月12日に明治安田システム・テクノロジー 介護の広場本部と共催で「ストップ介護 離職3-人材喪失リスクに備える-」をテーマにセミナーを開催（会場：東京・丸の内 MYPLAZA ホール）。当該セミナーでは、介護による離職の問題に加え、介護による疲労やストレスに起因する労働生産性の損失にも焦点を当てました。詳細は3ページを参照。

#### (3) 第15回日本応用老年学会大会の運営を受託

日本応用老年学会の指名により、第15回日本応用老年学会大会（2020年10月開催予定）の大会長をダイヤ財団研究部長の石橋智昭が務め、当財団が大会運営を担当することが決まりました。

同学会は、老年学（ジェロントロジー）に関わる“産・学・官・民”のあらゆる分野の人々が集い、学際的な視点から老年学の成果を社会に適用・応用することを目的に2006年に発足した学術団体です。同学会は研究にとどまらず、実務者や一般市民向けの活動として、社会保障、シニアビジネス、シニアの生活に関わる知識等を総合的に身に付けるための「ジェロントロジー検定試験」も実施しています。

“産・学・官・民”の連携は当財団の理念とも合致することから、賛助会員各社に協力を依頼しました。明治安田生命保険相互会社には特別協賛をお願いし、東京丸の内の同社本社ビルの会議室フロアを利用させていただくなど、全面的な協力を得て準備を進めています。

※ 同大会に関する最新情報は大会ホームページ（<https://www.sag-j2020.com/>）を参照。

### 7. 調査研究受託事業一覧（2017年度より開始）

#### (1) 2017年度

- 1) 「高品質サービスの言語化」に向けた事例の検証・解析調査研究事業  
委託元：公益社団法人全国老人福祉施設協議会
- 2) 「要介護者の認定レベル推移データ」提供事業  
委託元：東京海上日動火災保険株式会社
- 3) 80代になっても元気で働けるシルバー人材センターのあり方に関する調査研究事業  
委託元：公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会
- 4) 生きがい就業の介護予防効果に関する共同研究における埼玉県版総括報告書作成業務  
委託元：公益財団法人いきいき埼玉

(2) 2018年度

- 1) 伴走型介護の可視化に向けた評価指標の確立に関する調査研究事業  
委託元：公益社団法人全国老人福祉施設協議会
- 2) 80代になっても元気で働けるシルバー人材センター会員の増加策に関する調査研究事業  
委託元：公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会
- 3) 「在宅生活を支える重度化予防のためのケアとその効果についての既存指標等を用いた調査研究」支援業務  
委託元：日本生活協同組合連合会

(3) 2019年度

- 1) 高齢期会員の就業ハンドブック作成事業  
委託元：公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会